

漁海況月報

No. 12

平成20年12月1日

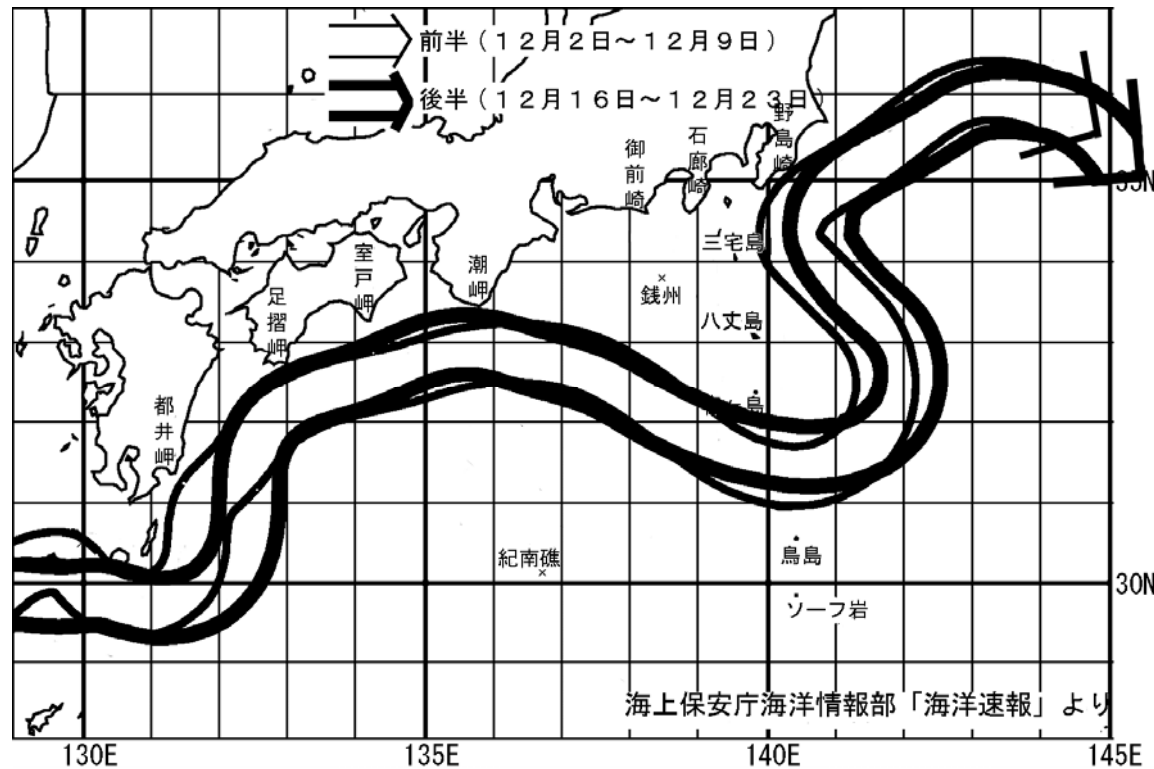
～12月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	17.6	18.7	18.6	17.8	17.8	18.0	13.9
	0.2	0.7	1.3	-0.2	0.2	1.2	-1.8
中旬	17.2	18.6	18.4	17.8	17.5	17.4	14.4
	0.6	1.5	2.0	0.9	0.9	1.4	-0.1
下旬	17.2	17.9	18.3	16.3	16.7	17.1	13.1
	1.6	1.5	2.6	0.4	1.0	2.1	-0.6
月	17.3	18.4	18.5	17.3	17.3	17.5	13.8
	0.8	1.3	2.0	0.4	0.7	1.6	-0.9

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸傾向で流去した。その後、遠州灘沖 32° 30' N 付近を東南東に流去し、青ヶ島の南東 31° 30' N 付近まで南下した後、141° E 付近から S 字状に北上し、房総半島に離岸傾向で流れた。

月後半の黒潮は、九州東岸を離岸傾向で流去し、足摺岬から潮岬にかけて接岸した。その後、遠州灘沖 32° 30' N 付近を東南東に流去し、青ヶ島の南東 31° 30' N 付近まで南下した後、141° E 付近から S 字状に北上した。房総半島沖ではやや離岸傾向で流れた。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 15～19°C 台、駿河湾東部では 14～18°C 台、西部では 11～18°C 台で経過した。

上旬は各地区ともおおむね平年並みで経過したが、中下旬には黒潮北上部から 18～19°C 台の暖水が波及した影響で高めとなった。月を通じては、各地区ともやや高めから高め経過した。

【竿釣近海カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣船、沿岸竿釣船によるカツオの水揚げはなかった。

【定置網】

平成20年12月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は542トンで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚量90.3トンは前年19.1トン(7漁場)の473%、平年値(昭和57～平成19年)33.2トンの272%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類332.9トン(A:前年同月比619%、B:平年同月比924%)②カタクチイワシ92.0トン(A:前年0、B:518%)③マアジ31.0トン(A:489%、B:191%)④ウルメイワシ15.1トン(A:212%、B:628%)⑤マルソウダ14.8トン(A:72%、B:185%)の順であった。

サバ類は川奈、北川、富戸を中心に入網し、昭和57年以降の最高値の144トンの倍以上漁獲され、12月としては記録的な大漁であった。ゴマサバが中心で、尾叉長のモードは31cmであり、2007年級群が中心と考えられた。また川奈にはマサバも5トン入網し、尾叉長のモードは20cmと33cmであった。カタクチイワシは古網、富戸、北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは11.5cmにみられた。マアジは北川、富戸を中心に入網し、尾叉長のモード18cmの当歳魚が中心であった。ウルメイワシは古網に集中的に入網し、尾叉長は測定できなかった。マルソウダは、北川、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは31cmであった。

また、ブリのうち「わらさ」銘柄は2.2トンであったが、前年の1398%、平年の164%で、富戸、谷津を中心に昭和57年以降で2番目に多く漁獲された。わらさの尾叉長のモードは61cm(1歳魚)と73cm(2歳魚)であった。

漁場別水揚量は、北川152トン(サバ類、カタクチイワシ、マアジ、ソウダカツオ類中心)、川奈144トン(サバ類、マアジ中心)、富戸132トン(サバ類、カタクチイワシ、マアジ中心)の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

本年は12月14日の水揚げを以って終漁となった。小川港には棒受網によってゴマサバ455トン(前年同月比175%)が水揚げされ、1隻あたり水揚量は37.9トン/隻(前年同月比121%)と好調であった。ゴマサバの平均単価は58円/kgで、前年同月(95円/kg)を下回ったが、前月(56円/kg)よりやや持ち直した。

漁場は三本に形成された。ゴマサバの魚体は、29cmモードの1歳魚(2007年級群)と思われる群が主体となった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)	漁 場
20年12月上旬	288	4	8	36.0	57	三本
中旬	167	2	4	41.8	58	三本
下旬	0	0	0	0	0	—
20年12月計	455	6	12	37.9	58	—
19年12月	250	4	8	31.3	95	三宅
18年12月	1,072	12	36	29.8	46	三本、三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

12月の出漁日数は6日で、漁獲量は322トン、漁場は主に大井川～相良沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長31mmにモードを持つ当歳エビと41mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

平成20年秋漁は12月24日が最終出漁日となり、出漁日数は11日(前年秋漁は13日)、漁獲量は542トン(同551トン)であった。

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均(kg)	漁 場
平成20年12月上旬	224	4	933	大井川～相良沖
中旬	41	1	676	大井川～相良沖
下旬	57	1	952	大井川～相良沖
平成20年12月計	322	6	893	—
平成19年12月計	287	5	955	焼津～大井川沖
平成18年12月計	255	7	606	三保～焼津沖

【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では68kg、遠州灘では120kgであった。主要6港平均では93kgであり、これは前年同期(71kg)の131%、平年同期(過去5か年平均:79kg)の118%と前年、平年を上回った。また、総水揚量は67.2トンで前年同期(25.2トン)の267%、平年同期(60.5トン)の111%と前年、平年を上回った。平均単価は1,115円/kgで、平年同期(1,210円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.6	5	25	104	759
舞 阪	21.0	7	116	181	641
福 田	13.2	7	126	105	947
御前崎	4.4	7	76	58	1,095
吉 田	10.7	9	200	53	1,112
静 岡	15.3	9	180	85	1,978
平成20年12月計	67.2		723	93	1,115
平成19年12月計	25.2		355	71	1,125
平成18年12月計	80.4		1,033	78	1,114

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げは1.4トンで平年同期(18.4トン)の7%であった。沼津港ではマイワシが7.9トンの水揚げで平年同期(39.7トン)の20%であった。カタクチイワシは0.5トンの水揚げ(平年同期は水揚げなし)であった。静浦港ではマイワシの水揚げはなく(平年同期0.1トン)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期13.4トン)。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった(平年同期25.9トン)。

注) 平年同期: 過去5か年(2003～2007年)平均

【調査船の動向】

富 士 丸	12月1日	～	12月10日	第5次南方カツオ調査(10日水揚げ)	(10日間)
駿 河 丸	12月1日	～	12月3日	地先定線観測調査	(3日間)
	12月8日	～	12月8日	公共水域水質調査	(1日間)
	12月10日	～	12月11日	サクラエビIKMT調査	(2日間)
	12月15日	～	12月16日	駿河湾短期海況変動調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

